

ID: M1811

助成受給団体名	とめがやくぼうはんきょうかい 留ヶ谷区防犯協会
事業の名称	地域安全運動及び市内一斉防犯パトロール兼振り込め詐欺防止
実施期間	2018年 8月 1日 ～ 2018年 12月 31日
実施した事業の内容 留ヶ谷区防犯協会は設立から10年を過ぎ、この間、犯罪の抑止や青少年の非行防止を目指し、冬季を除く毎週末に夜間パトロールを行ってきました。また、市防犯協会連合会として行う各種防犯活動に会員として参加しながら、特に東日本大震災後に不安が高まった治安の回復にも微力ながら努めてきました。しかし、視認性や抑止効果を高めるためのジャンパーは、10年間で使用に耐えない状態にあり、更に、薄手のため冬季の活動は困難な状況にありました。 この度の助成事業によりジャンパー（フードインジャケット）を一新するとともに、防寒ブルゾンと帽子（セーフティキャップ）も揃えましたので、活動の時期も広げることが可能となりました。また、活動の中心は夜間パトロールのため、反射テープを取り付け会員の交通事故等を防止し、併せて当協会名を大きくプリントしたことで、地域住民へ安心感を提供できるものと思います。 これらの物品を活用した本格的な活動は来年度からとなりますが、会員一同、新たな気持ちを持って、地域の安全確保のため、更により良い活動を目指しながら、継続的な防犯活動に取り組んでいきたいと思ひます。	
事業の成果 物品の完成時期が遅れ、本年度はあまり活用することができませんでしたが、ジャンパーと帽子は9月末に完成し、それを着用して地域の本年最後の夜間パトロール（写真1）や、連合会での市内一斉防犯パトロールに参加することができました。 防寒ブルゾンは完成が11月となったため、振り込め詐欺被害と交通事故防止を目指す、連合会での防犯・交通安全啓発キャンペーンの他、地域での今後の活動も見据えた年末期の昼間パトロール（写真2）で活用しました。 また、11月に行われた全市挙げての総合防災訓練では、当協会員は防寒ブルゾンを着用して地域住民の避難誘導に当たりましたが、一見して判りやすい格好であり、地域住民からも好評を得たことで会員の士気も高まりました。 今回の助成により、地域住民への認知度の向上と、会員の意識の高揚という大きな効果がありましたので、来年度からの活動にも更に力が入っていくと思ひます。	
今後の課題 会員の高齢化が一番の課題ですが、人口減少と年金受給年齢の上昇で新入会員が確保できず、それに拍車がかかることも危惧されます。そのため、今後は女性の入会に力を入れていきたいと思ひますが、そうすると更に物品が必要になってくることも悩みの種です。	

